



Sapporo Gakuin University

学園広報

2008.11.20 No.101

編集・発行 札幌学院大学 広報課
〒069-8555 北海道江別市文京台11番地
電話 (011)386-8111
http://www.sgu.ac.jp

新年度に向け経営学部開設の準備進む

●経営学科 ●会計ファイナンス学科



商学部長 光武 幸
(2009年4月経営学部長就任予定)

高度なマネジメント能力をもった人材を育成

短大時代を含めると約六十年の歴史を有する商学部を改組転換して、会計ファイナンス学科と経営学科の二学科から構成される経営学部が、二〇〇九年四月に開設されます。商学部が育んできた価値・伝統を活かし、時代の潮流を読み込んだ学部改組です。

商学部は社会の動きを敏感に反映した学部づくりを目指し、現場から学ぶ・現場で学ぶをモットーに、実践教育を重視してきま

産学協同の連携も

来春の経営学部の誕生に先

金融論、流通論やその学際から追究していきます。

Q1 なぜ、いま経営学部なのですか。

A1 金融危機や株価暴落などが、世界的な問題となっ

Q2 経営学部と経済学部の違いは何ですか。

A2 両学部とも、現代の経済社会における様々な問題・課題にアプローチする学部

Q3 会計ファイナンス学科の特徴は?

A3 会計ファイナンス学科は、会計とファイナンスの

Q4 経営学科の特徴は?

A4 経営学科では、地域企業や非営利団体などの協力を得ながら、フィールド調査に取り組みます。

Q5 卒業後の将来は?

A5 会計ファイナンス学科は、職業会計人や企業における会計の専門家、そして銀行・証券・保険などの金融業界で活躍する人材の育成を大きな柱としています。

Q6 産学協同の連携も

来春の経営学部の誕生に先

おしえて! 経営学部

「地域には行政、市民生活、自然環境、地域経済など様々な課題があるが、この中に宝が眠っている。この宝を魅力と考へ、まちづくりを進めてゆきましょう」と、河西教授が北海道の「地域力形成実践事業のモデル地域」としてアトバイ



実習でアンケート調査を行う商学部学生

九月五日、大学開学四十年・経営学部開設記念函館市民講座「講演と音楽の夕べ」が函館市芸術ホールで開催されました。

大学開学40周年・経営学部開設記念 函館市民講座 講演と音楽の夕べ開催

「地域には行政、市民生活、自然環境、地域経済など様々な課題があるが、この中に宝が眠っている。この宝を魅力と考へ、まちづくりを進めてゆきましょう」と、河西教授が北海道の「地域力形成実践事業のモデル地域」としてアトバイ



講演のあとは、土田英順さん(チェロ)、林絵里さん(ピアノ)の『チェロで奏でる名曲集』。

学生の育成につなげていきたい

平体准教授「アメリカ力学会・清水博賞」受賞

平体由美人文学部准教授が執筆した「連邦制と社会改革—二十世紀初頭アメリカ合衆国の児童労働規制」(世界思想社)が「アメリカ力学会・清水博賞」を受賞し、去る六月一日、同志社大学にて授賞式が行われました。

「アメリカ力学会・清水博賞」は、アメリカ力学会において、主として若手研究者が最初に発表した研究成果の中から、特に優れた作品数点が選ばれて賞を受けるもの。



「連邦制」と「児童労働」について授賞式が行われました。平体准教授からは「これまで行ってきた一次資料に基づき研究が認められ、感謝しております。今後はさらにアメリカの地方自治と全国改革との関連性と緊張関係を突き詰めて研究していく所存です。また、バ

2009年度 大学院二期入試

社会人も受け付けています
願書受付: 2009年1月7日~20日
入学試験日: 2009年2月11日
法学研究科・地域社会マネジメント研究科
詳しくは、大学院・研究課まで

東亜大学校(韓国・釜山)との教員交流

去る十月八日に本学の学術交流協定校である韓国・釜山の東亜大学校において、本学の三好元商学部教授による講演会が行われました。



現在の榎の木小屋

40年前も、今も、気概は同じ

馬場 繁 幸 (札幌商科大学商学部第一期卒業)

設立から四十年も経ってしまおうと、そう簡単にはた札幌学院大学のホーム

一九七一年に商科大学を卒業して、紆余曲折、一九七八年から北海道から一番南に離れた沖繩で大学教員をしていた。しかし、原野の中の吹き曝しの大学で得た気概だけは今も変わらない。地球温暖化による海面上昇で国土が水没する危機に直面しているツバルやキリバスの住民と一緒にマングロープを植え、マトラ沖地震津波の被害を受けたモルジブでは海岸線の造成をさせてもらっている。行ったことがない国であれば行ってみる。知らないことがあれば学習し、今、自分のおかれている場所で、自分ができる最大限のことを楽しくすると良いのである。

講演会と研究会を開催する予定です。今後も学生および教員間の交流を積極的に進めたいと考えています。

新しいパソコン環境が利用者には好評!



「知識的基盤社会」において求められる教育とは、電子計算機センターでは、単に知識を伝達する営みではありません。「正解の無い時代」を生き抜くうえで必要な創造的かつ論理的思考力、情報活用能力、協調能力、情報活用能力、協同能力の育成」を掲げ、昨年四月に教育用コンピュータを一新し、最新の情報テクノロジーを活用した教育方法の改善を支援しております。

また、図書館の閲覧室には五十台のパソコンを配備しました。平日はもとより夜間や休日にも図書文献とインターネット情報を利用して学習に取り組む学生の姿が多く見られます。

会話が許されているグループ学習室は、パソコンを囲



ブレンデッド教室を利用した講義の様子

そのひとつのアプリとして、従来の黒板とチョークによる授業形態を進化させ、学生と教員が相互に学びを深める新たな教育環境を用意することが肝要と

考え、「ブレンデッド教室」を設置しました。これは、本学の教育目標である「自律した人間の育成」、「豊かな人間性の育成」ならびに「社会を担い得る人間の育成」の実現に向けて二〇〇八年四月に教育用コンピュータを一斉更新し、最新の情報テクノロジーを活用した教育方法の改善を支援しております。

また、図書館の閲覧室には五十台のパソコンを配備しました。平日はもとより夜間や休日にも図書文献とインターネット情報を利用して学習に取り組む学生の姿が多く見られます。

会話が許されているグループ学習室は、パソコンを囲



サポートデスクスタッフの、窓口の様子

並行してパソコン環境の維持、教材の電子化、講義の映像化、eラーニング教材の作成補助更には聴覚に障がいを持つ学生用に映像教材への字幕入れに取り組みなど教育支援に大きく貢献しています。

サポートデスクスタッフは多様なニーズに対応するの改善を常とし、マニュアルの作成や、定期的なミーティングを通じて経験や情報の共有を図っています。

今後の取り組みが、学生スタッフの知識や技能を活かす場から、学生と教職員が協働して新たなアイデアやサービスを創出する場となるれば、「学生とともにつくる大学」としての新たな教育支援が展開されること期待されます。

サポートデスクでは高い情報スキルを持つ学生スタッフが多様な相談やトラブルに対応しています。スタッフは、電子計算機センターを取り組んでいる「学生パワー」を活用した教育支援体制を実現するために教員推薦や公募により採用された学生で、窓口相談業務とも期待されます。



蔵書検索もスピードアップ! 図書館システムが新しくなりました

二〇〇一年度に入した図書システムを二〇〇八年八月末に九月月上旬にかけて新しいシステムにバージョンアップすると同時に十月一日付けで図書館のウェブサイトをリニューアルしました。

旧システムでは、蔵書検索の際にレスポンスが遅く利用者の皆様方には大変ご迷惑をおかけしていましたが新システムでの蔵書検索では、ほとんどストレスを感じない高速なレスポンスを実現しました。

また、新システムでは、国立情報学研究所のONACIS-CATやWebcat Plus、論文情報ナビゲータ(CN)との連携、電子ジャーナルEJSCOhostとの連携を実現し、図書館内外の学術情報の検索・入手機能を大幅に改善しました。更に、My Libraryという利用者の皆様方個人の情報ポータル機能の追加が期待されています。

七、八月は教職員による写真展とコラボレーションした「フォト・フォトクラフト展」、十一月は読書週間にあわせた企画展示を行い、いずれも好評を得ました。

健康運動指導士などの維持、教材の電子化、講義の映像化、eラーニング教材の作成補助更には聴覚に障がいを持つ学生用に映像教材への字幕入れに取り組みなど教育支援に大きく貢献しています。

サポートデスクスタッフは多様なニーズに対応するの改善を常とし、マニュアルの作成や、定期的なミーティングを通じて経験や情報の共有を図っています。

今後の取り組みが、学生スタッフの知識や技能を活かす場から、学生と教職員が協働して新たなアイデアやサービスを創出する場となるれば、「学生とともにつくる大学」としての新たな教育支援が展開されること期待されます。

「今年も『ふたごの森』が始まりました」

昨年初めて実施し、好評を得た「地域高齢者トレーニング教室」いきいき文京台が今年も開かれてい

今年も昨年に引き続き、急遽二クラスの開催となりました。昨年参加された方からは「家でも毎日続けられるのが良かった」「特別な道具がなくても、簡単に実行できる」「知らない人とも仲良くなった」などの感想が寄せられました。

十四名中八名の方が今年も元気に参加しています。

初日の九月二十二日には、アスレチックトレーナー、

デジタルアーカイブで江別の「歴史」と「いま」を後世へ

二〇〇八年四月に「江別の歴史と環境文化を後世に伝える会」を設立し、江別の古い写真や現在の町並みをデジタル化して保存する活動に取り組んでいる、札幌学院大学電子ビジネスセンター所長の渡邊慎哉商学部教授にお話をうかがいました。

「アーカイブ」とは保管庫のことです。デジタルアーカイブは、例えば歴史の価値のある美術品や青焼き写真など、そのままにしておくと自然に崩壊してしまう重要な物を様々な形でデジタル化し、将来の取り組みに共感し、江別市

「今年も『ふたごの森』が始まりました」

昨年初めて実施し、好評を得た「地域高齢者トレーニング教室」いきいき文京台が今年も開かれてい

今年も昨年に引き続き、急遽二クラスの開催となりました。昨年参加された方からは「家でも毎日続けられるのが良かった」「特別な道具がなくても、簡単に実行できる」「知らない人とも仲良くなった」などの感想が寄せられました。

十四名中八名の方が今年も元気に参加しています。

初日の九月二十二日には、アスレチックトレーナー、

大学院法学研究科修了生 加藤知子氏 租税資料館奨励賞受賞

大学院法学研究科を二〇〇八年三月に修了した加藤知子さんが租税資料館奨励賞を受賞しました。この賞は、財団法人租税資料館から税法等に関する優れた著書及び論文に対して与えられる名誉な賞です。

今回の論文は、「同族会社における特殊関係者間取引につき行政官がその行為を否認対象とし、その否認によって生ずる経済的な二重課税の問題点につき、税法間の調整(二重課税の排除)を図る法的権能が存在するか否かについて、検証を行うことを目的とした」と加藤さん。

税理士事務所勤務しながらの大学院での研究、そして受賞。その努力と苦

でも学官連携の形で実施しようという事になりました。学官連携の良い部分は、民間企業に比べて低コストで実施できることです。実際に地域(江別市)でのいくつかの講演会において古い写真を公開してみると、古くから江別に住んでいて江別に愛着を持っている方々が非常に多いことを知りました。また、その方々はフィルムに付随している情報の何倍もの当時の知識を持っています。会を設立した一つの目的は、歴史的な知識を持った市民の方々の参加を得て、歴史的情報を共有・収集することにあります。また、もう一つの目的は、アーカイブする対象はフィルムに限らずビデオや書物など様々なものがあるため、アーカイブ作業を分担して行うことです。

現在は「広報えべつ」のために撮られたフィルムのアーカイブ作業をすすめています。一般公開はもう少し先になります。公開方法については、伝える会を中心に現在検討しているところです。

「今年も『ふたごの森』が始まりました」

昨年初めて実施し、好評を得た「地域高齢者トレーニング教室」いきいき文京台が今年も開かれてい

今年も昨年に引き続き、急遽二クラスの開催となりました。昨年参加された方からは「家でも毎日続けられるのが良かった」「特別な道具がなくても、簡単に実行できる」「知らない人とも仲良くなった」などの感想が寄せられました。

十四名中八名の方が今年も元気に参加しています。

初日の九月二十二日には、アスレチックトレーナー、

平成二十一年度学部入学生学費決定!

— 社会情報学部の学費引き下げ

平成二十一年度学部新入生の学費が決定しました。これまで、社会情報学部は、他学部より授業料が高設定されていましたが、平成二十一年度の新入生から他学部と同額になります。この決定により、社会情報学部では、初年度納付金で七六、〇〇〇円、四年間で三七八、〇〇〇円学費負担が軽減されます。

	平成21年度(第1年次)	平成22年度(第2年次)	平成23年度(第3年次)	平成24年度(第4年次)
入学金	200,000円	—	—	—
授業料	834,000円	874,000円	902,000円	922,000円
合計	1,034,000円	874,000円	902,000円	922,000円

上記学費以外に、後援会費等の諸経費が必要になります。

私大助成署名 ありがとうございました

札幌学院大学公費助成推進協議会は、全国の私学と共に、私学への国庫助成を拡大し、私立大学に学ぶ学生と父母の負担増を抑え、教育研究条件を改善することを目的に活動しております。

六月下旬に、在学生の保護者の皆様へ国会請願署名と募金をお願いさせて頂いたところ、九月末現在の集計で、三、〇六五筆の署名と、三、三三七、五〇〇円の募金をお寄せ頂きました。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

公費助成推進協議会 代表 法学部教授 松本 祥志

「今年も『ふたごの森』が始まりました」

昨年初めて実施し、好評を得た「地域高齢者トレーニング教室」いきいき文京台が今年も開かれてい

今年も昨年に引き続き、急遽二クラスの開催となりました。昨年参加された方からは「家でも毎日続けられるのが良かった」「特別な道具がなくても、簡単に実行できる」「知らない人とも仲良くなった」などの感想が寄せられました。

十四名中八名の方が今年も元気に参加しています。

初日の九月二十二日には、アスレチックトレーナー、

加えて、歴史的情報を共有・収集すること。また、もう一つの目的は、アーカイブする対象はフィルムに限らずビデオや書物など様々なものがあるため、アーカイブ作業を分担して行うことです。

現在は「広報えべつ」のために撮られたフィルムのアーカイブ作業をすすめています。一般公開はもう少し先になります。公開方法については、伝える会を中心に現在検討しているところです。

教育振興寄付金ご芳名 (平成二十年九月三十日までの中間報告)

敬称略・順不同

佐々木 洋 高橋 恒夫 菅原 真紀
 中江 光男 小岩 重治 清水 雅彦
 長濱 孝市 亀井 利守 山田 宣男
 安部 孝法 久保 昭治 川村 秀徳
 風越 裕司 平石 昭彦 吉川 雅章
 下山 勝也 番場 清彦 狩野 靖久
 加藤 清治 澤村 一彦 廣川 末雄
 中野 重信 榎本 創一 片平 一夫
 川島 重信 藤村 順一 三屋 康幸
 伊藤 辰夫 中田 重和 岡野 京子
 戸野 正和 中野 望月 望月 昌子
 伊藤 征春 金野 久広 松本 伊智朗
 福井 尚平 蓮池 和夫 安井 久浩
 福井 祐均 滝沢 広忠 佐々木 和知
 高田 和長 西崎 正吉 林 史知
 南隅 基秀 宮川 正志 山田 真士

敬称略・順不同

杉村 直樹 菅原 真紀
 岩崎 勝一 清水 雅彦
 田中 二寛 鳴海 秀敏
 新妻 寛 中本 昌伸
 岡田 武 半澤 泉
 北川 真太郎 山田 宣男
 河西 邦子 吉川 秀徳
 前野 美子 小野 雅章
 小野 富美子 皆川 雅章
 川島 幹雄 下田 洋一
 廣川 末雄 照井 正昭
 横川 一夫 榎本 健三
 片平 一夫 松本 伊智朗
 三屋 康幸 望月 昌子
 岡野 京子 望月 昌子
 金野 久広 川合増太郎
 安井 久浩 嵯峨さゆり
 佐々木 和知 前川 郁夫
 林 史知 佐藤 隆一

私大助成推進協議会 全国の私学と共に、私学への国庫助成を拡大し、私立大学に学ぶ学生と父母の負担増を抑え、教育研究条件を改善することを目的に活動しております。

六月下旬に、在学生の保護者の皆様へ国会請願署名と募金をお願いさせて頂いたところ、九月末現在の集計で、三、〇六五筆の署名と、三、三三七、五〇〇円の募金をお寄せ頂きました。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

公費助成推進協議会 代表 法学部教授 松本 祥志

札幌学院大学

私大助成推進協議会 全国の私学と共に、私学への国庫助成を拡大し、私立大学に学ぶ学生と父母の負担増を抑え、教育研究条件を改善することを目的に活動しております。

六月下旬に、在学生の保護者の皆様へ国会請願署名と募金をお願いさせて頂いたところ、九月末現在の集計で、三、〇六五筆の署名と、三、三三七、五〇〇円の募金をお寄せ頂きました。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

公費助成推進協議会 代表 法学部教授 松本 祥志

札幌学院大学

教職員人事

◎退職

平成二十年八月三十一日付

石田 節子(教務部教務課)

◎異動

平成二十年七月一日付

▼総務部財務課財務係長 進(入試課入試係長 広嶋)

▼総合政策部広報課(管財課) 中鉢 哲也

▼キャリア支援課(学生課) 小野 麻美

▼入試課入試係長(キャリア支援課キャリア支援係長) 加藤 祐司

▼学生課学生係長(総務部財務課財務係長) 三浦 仁史

Seminar @SGU vol.2

法学部法律学科

松本祥志ゼミナール (国際法)

国際法の研究をつうじて、西洋の文化・文明の彼方まで視野を身につけ、非西洋の文化・文明を迎え入れ、平和と人権にもとづく豊かな世界の構築をめざしています。



らくだと記念写真(マラケシュ)



ラバトで学生交流

今まで経験したことのないような空間と時間を体験できたことが研修の最大の成果であり、おみやげでしょう。インシャー・アッラー(また機会があれば)。

魅惑のドバイ、神秘的モロッコを旅してきました。ドバイは四十度をこえる暑さでした。もともと砂漠でありながら、世界文明の最先端を切り拓くところまで発展し、その切れ味はほとんど感動的でした。モロッコはアラブの伝統とアフリカの伝統を合わせもちながら近代化を進めてきた。「一石三鳥」みたいな国です。大学から補助金を受けたとはいえ、予算が限られる学生にとっては効率的な研修先だったと思います。

モロッコの北部ではスペイン語、全土ではフランス語アラビア語、ベルベル語が、都市部では英語も話されています。近代的市街の商店街もメディナのスウーク(旧市街の市場)も賑わい、異文化理解・多文化主義が

日常の生活に浸みついた、厚みのあるバラエティの横溢を感じました。カサブランカでは巨大な海上モスクを見学し、マラケシュではジャマ・エル・フナ広場のスウークで買物し、ベルベルの伝統料理・芸能を鑑賞しました。また、首都ラバトのハッサン五世大学で教授や大学院生などと交流し、モロッコの社会発展についての講義を受け、日本から留学をするときの費用や手続きも説明してもらいました。今回行った学生のうちから留学する人がでてくるかもしれません。

英語を学ぶことで新しい自己の創造を 人文学部英語英米文学科教授 宮町 誠一

小学校での英語必修化が始まり、使える英語の必要性が高まっています。その流れを受けて、英語英米文学科では社会的な評価に耐えうる英語力の基準として、多くの企業でも採用されているTOEICの受験を学生に積極的に勧めたいです。また、学外で実践的に英語を使える機会があれば、どんどん紹介していく体制を整えています。

二〇〇八年七月、北海道洞爺湖サミットが行われ、本学から九名の学生が通訳ボランティアとして参加しました。参加した学生たち

「バヌアツ人は時間を守り、頑丈で密閉した住宅がない、約束を守らない。仕事が必要、着る物は寒さから守るため厚着、食べ物は保存の背後にはバヌアツ人は日本人に比べて劣るという意識が働いています。そうでしょうか。少し皆さんと一緒に考えてみたいと思います。」

「バヌアツ人は時間を守り、頑丈で密閉した住宅がない、約束を守らない。仕事が必要、着る物は寒さから守るため厚着、食べ物は保存の背後にはバヌアツ人は日本人に比べて劣るという意識が働いています。そうでしょうか。少し皆さんと一緒に考えてみたいと思います。」

「バヌアツ人は時間を守り、頑丈で密閉した住宅がない、約束を守らない。仕事が必要、着る物は寒さから守るため厚着、食べ物は保存の背後にはバヌアツ人は日本人に比べて劣るという意識が働いています。そうでしょうか。少し皆さんと一緒に考えてみたいと思います。」

異文化に触れる、視野が広がる

札幌学院大学には、さまざまな形で異文化に触れる機会が用意されています。今回は、本学商学部を卒業し、今春、大学院地域社会マネジメント研究科に進学した中国からの留学生、関さんと杜さんをご紹介します。

お二人とも本学商学部の卒業生。札幌学院大学で四年間学んだことを基礎にしたうえで、大学院で学びたいという思いで、日本語で苦学したそうです。しかし、原晴生商学部教授や部員、指導を受けるうちに日商簿記三級の資格を取得することができ、進んでいく道が見えてきたと言います。

杜さんは、学部の三年生で、この時の学びをもとに、中国と日本の商業施設を比較する方法や、中国とも状況が似ている少子高齢化や経済格差の問題を深く研究したいそうです。

杜さんは、学部の三年生で、この時の学びをもとに、中国と日本の商業施設を比較する方法や、中国とも状況が似ている少子高齢化や経済格差の問題を深く研究したいそうです。

杜さんは、学部の三年生で、この時の学びをもとに、中国と日本の商業施設を比較する方法や、中国とも状況が似ている少子高齢化や経済格差の問題を深く研究したいそうです。

中国から初めての留学生 大学院地域社会マネジメント研究科 関さん、杜さん

杜さんは、学部の三年生で、この時の学びをもとに、中国と日本の商業施設を比較する方法や、中国とも状況が似ている少子高齢化や経済格差の問題を深く研究したいそうです。



左が杜さん、右が関さん

杜さんは、学部の三年生で、この時の学びをもとに、中国と日本の商業施設を比較する方法や、中国とも状況が似ている少子高齢化や経済格差の問題を深く研究したいそうです。

海外通信 バヌアツ共和国見聞記 第5報 「バヌアツと日本」



サント島で暮らすバヌアツ人

札幌学院大学 客員教授 川口 孝太郎

「バヌアツ人は時間を守り、頑丈で密閉した住宅がない、約束を守らない。仕事が必要、着る物は寒さから守るため厚着、食べ物は保存の背後にはバヌアツ人は日本人に比べて劣るという意識が働いています。そうでしょうか。少し皆さんと一緒に考えてみたいと思います。」

「バヌアツ人は時間を守り、頑丈で密閉した住宅がない、約束を守らない。仕事が必要、着る物は寒さから守るため厚着、食べ物は保存の背後にはバヌアツ人は日本人に比べて劣るという意識が働いています。そうでしょうか。少し皆さんと一緒に考えてみたいと思います。」

「バヌアツ人は時間を守り、頑丈で密閉した住宅がない、約束を守らない。仕事が必要、着る物は寒さから守るため厚着、食べ物は保存の背後にはバヌアツ人は日本人に比べて劣るという意識が働いています。そうでしょうか。少し皆さんと一緒に考えてみたいと思います。」

「バヌアツ人は時間を守り、頑丈で密閉した住宅がない、約束を守らない。仕事が必要、着る物は寒さから守るため厚着、食べ物は保存の背後にはバヌアツ人は日本人に比べて劣るという意識が働いています。そうでしょうか。少し皆さんと一緒に考えてみたいと思います。」

「バヌアツ人は時間を守り、頑丈で密閉した住宅がない、約束を守らない。仕事が必要、着る物は寒さから守るため厚着、食べ物は保存の背後にはバヌアツ人は日本人に比べて劣るという意識が働いています。そうでしょうか。少し皆さんと一緒に考えてみたいと思います。」

「バヌアツ人は時間を守り、頑丈で密閉した住宅がない、約束を守らない。仕事が必要、着る物は寒さから守るため厚着、食べ物は保存の背後にはバヌアツ人は日本人に比べて劣るという意識が働いています。そうでしょうか。少し皆さんと一緒に考えてみたいと思います。」

「バヌアツ人は時間を守り、頑丈で密閉した住宅がない、約束を守らない。仕事が必要、着る物は寒さから守るため厚着、食べ物は保存の背後にはバヌアツ人は日本人に比べて劣るという意識が働いています。そうでしょうか。少し皆さんと一緒に考えてみたいと思います。」



山奥で生活するバヌアツの大家族の家



「バヌアツ人は時間を守り、頑丈で密閉した住宅がない、約束を守らない。仕事が必要、着る物は寒さから守るため厚着、食べ物は保存の背後にはバヌアツ人は日本人に比べて劣るという意識が働いています。そうでしょうか。少し皆さんと一緒に考えてみたいと思います。」

「バヌアツ人は時間を守り、頑丈で密閉した住宅がない、約束を守らない。仕事が必要、着る物は寒さから守るため厚着、食べ物は保存の背後にはバヌアツ人は日本人に比べて劣るという意識が働いています。そうでしょうか。少し皆さんと一緒に考えてみたいと思います。」

「バヌアツ人は時間を守り、頑丈で密閉した住宅がない、約束を守らない。仕事が必要、着る物は寒さから守るため厚着、食べ物は保存の背後にはバヌアツ人は日本人に比べて劣るという意識が働いています。そうでしょうか。少し皆さんと一緒に考えてみたいと思います。」

「バヌアツ人は時間を守り、頑丈で密閉した住宅がない、約束を守らない。仕事が必要、着る物は寒さから守るため厚着、食べ物は保存の背後にはバヌアツ人は日本人に比べて劣るという意識が働いています。そうでしょうか。少し皆さんと一緒に考えてみたいと思います。」

2008年度後期 コミュニカレッジ 潜入記

視点に立つてわかりやすく二回にわたって講義を行いました。第一回は、現在起きている金融市場の現実と中長期トレンドを整理・比較しながら、世界と日本の経済・人口・環境の変化と個人の

「バヌアツ人は時間を守り、頑丈で密閉した住宅がない、約束を守らない。仕事が必要、着る物は寒さから守るため厚着、食べ物は保存の背後にはバヌアツ人は日本人に比べて劣るという意識が働いています。そうでしょうか。少し皆さんと一緒に考えてみたいと思います。」

「バヌアツ人は時間を守り、頑丈で密閉した住宅がない、約束を守らない。仕事が必要、着る物は寒さから守るため厚着、食べ物は保存の背後にはバヌアツ人は日本人に比べて劣るという意識が働いています。そうでしょうか。少し皆さんと一緒に考えてみたいと思います。」

「バヌアツ人は時間を守り、頑丈で密閉した住宅がない、約束を守らない。仕事が必要、着る物は寒さから守るため厚着、食べ物は保存の背後にはバヌアツ人は日本人に比べて劣るという意識が働いています。そうでしょうか。少し皆さんと一緒に考えてみたいと思います。」

未来の君に逢える！ オープンキャンパス

学生スタッフの活躍！
オープンキャンパスに来ると一番最初に高校生が出会うのが、夏にはオレンジ色のポロシャツ、秋にはスライブルーのスタッフジャンパーを着た札幌学院大学学生スタッフ。普段、高校生が見学に来た時のガイドもしている、大学の案内はバッチリです。



オープンキャンパスでのイベント「キャンパスツアー」の様子

学内の施設を知り尽くした学生のパワーでオープンキャンパスが盛り上がり。年齢が近いというメリットもあり、高校生はスタッフに気軽に接しています。「対応が丁寧で良かった」「スタッフの方が親切で丁寧な説明も良かった」と好評も。参加した方々から聞かれます。もともとは二〇〇六年に、

「オープンキャンパスには、配布資料の内容や施設の説明に学生スタッフの意見が反映されます。また、高校生や保護者の方への説明等を行ったあとで、さらに改善してゆきたい点などを入試課に報告しています。」
これは、大学にとって次の参考になるばかりでなく、学生スタッフにとって社会との接点をもつという意味での勉強ができて、スタッフ同士も刺激あつて大きく成長することが期待されている点です。

「成長期におけるスポーツトレーニングの理論と実際」
トレーナーの理論と実際
本年七月に立命館大学へドストレンジス&コンディショニングコーチである湯浅康弘氏を迎えて、「高校生・大学生を中心とした成長期におけるスポーツトレーニングの理論と実際」の講習会を開催しました。この取り組みは、本学体育系クラブの秋季リーグ戦での活躍へむけて、正しいトレーニング理論と実際を多くの方に学んで頂きたいと計画されました。

「女子硬式庭球部」
人文学部臨床心理学科三年 齊藤まどか
私たち女子硬式庭球部は、「テニスを楽しくしよう！」をモットーに、笑いの絶えない仲間と共に日々練習に励んでいます。様々な大会にも出場し、輝かしい成績はまだまだ残せてはいないものの、試合を重ねるごとに皆確実に成長しています。

「日本拳法部」
法学部法律学科三年 鈴木 貴陽
柔術・日本古来の武術には、投技を中心とする柔道、返し技や逆捕り技を中心とする合気道などがありますが、防具とグローブを着けて、当身技を中心に行うのが日本拳法です。私たち日本拳法部は、日本古来の武道精神にふれることで、良いことは進んで行い、人として、しては行けないことはしない、強く正しくさわやかな人間づくりを目的としています。



「運転士を目指されているそうですね。」
はい。でも、運転士という職業に子どもの頃から憧れていたわけではありませんでした。学院大に入学し、実家のある岩見沢から電車で通うようになって初めて、運転士が指差し確認をするときのきびきびとした動作が目につきました。それがとてもかっこよく魅力的に見えたんです。これが運転士を目指そうと思ったきっかけです。

「入社後は、まず留萌駅に配属されたんですね。」
同期入社二百七十人のうちの一人です。留萌駅は小さな駅なので、改札や車の窓口の離し作業、みどりの商品販売など、あらゆる駅業務を担当させてもらっています。

「在学中はソフトテニス部で活躍されましたが、室田さんにとつてどのような意義がありましたか。」
ソフトテニス部には「日本一になる」という目標と「社会に通用する強い人間を作る」という目的があります。四年間でその目標と目的に向かって努力することの大切さを学びました。

卒業生 この人

列車の運転士をめざして

北海道旅客鉄道株式会社
室田 章吾 さん
(2008年経済学部経済学科卒業)



留萌では海岸線を走ってトレーニングしていました

「最後に、後輩にひとことお願いします。」
就職活動中の人はまず「自分を知る」ことが大切です。自分自身の細かな部分まで把握して、いなければ、面接等で自分売り込む(自己PR)ことはできません。そして、何かひとつ四年間でやり遂げたいと思うから、後輩に相談をもちかけられるか小さなことで構いません。毎日続けることが大事です。それから周りの人を大切に、感謝する気持ちを忘れないうでください。人は誰もが気づかぬところで人に支えられていると思うんです。

「鉄道研究会」
経済学部経済学科二年 金野 利哉
私たち鉄道研究会は創部十七年目で部員は三名の小さなサークルです。活動内容は鉄道に関する様々な活動を行っています。鉄道を使った旅行の他にも、大学祭で鉄道模型レアウトや自分達で撮影した写真展示したり、旅行記や鉄道関連の記事を載せた「待合室」という会報などを発行しています。今年度の発行を目指し執筆活動を行いました。本館や大阪の交通科学博物館などを訪ねました。本館にハードな旅行でかなり疲れましたが、それ以上に何とも言えない面白さと達成感がありました。

「女子硬式庭球部」
人文学部臨床心理学科三年 齊藤まどか
私たち女子硬式庭球部は、「テニスを楽しくしよう！」をモットーに、笑いの絶えない仲間と共に日々練習に励んでいます。様々な大会にも出場し、輝かしい成績はまだまだ残せてはいないものの、試合を重ねるごとに皆確実に成長しています。

「日本拳法部」
法学部法律学科三年 鈴木 貴陽
柔術・日本古来の武術には、投技を中心とする柔道、返し技や逆捕り技を中心とする合気道などがありますが、防具とグローブを着けて、当身技を中心に行うのが日本拳法です。私たち日本拳法部は、日本古来の武道精神にふれることで、良いことは進んで行い、人として、しては行けないことはしない、強く正しくさわやかな人間づくりを目的としています。

「女子硬式庭球部」
人文学部臨床心理学科三年 齊藤まどか
私たち女子硬式庭球部は、「テニスを楽しくしよう！」をモットーに、笑いの絶えない仲間と共に日々練習に励んでいます。様々な大会にも出場し、輝かしい成績はまだまだ残せてはいないものの、試合を重ねるごとに皆確実に成長しています。

「先生はいつも元気だね」
菊池 特(五キロ)に聞こえる応援の声が、この瞬間に。声は大きいが、命が縮まる。嬉しんだけど、菅野 先生にも走ってもらいたいなあ！
「私たちが、走ること、国際交流してよ」
菅野 中国で大会のボランティアが「がんばってください」と日本語で話しかけてきた。簡単なことではあるけど、通じるよな。
「私たちが、走ること、国際交流してよ」
菅野 中国で大会のボランティアが「がんばってください」と日本語で話しかけてきた。簡単なことではあるけど、通じるよな。

走り続ける

《座談会》競技記録と人生への挑戦

笹岡 征雄監督(人文学部教授)から教わったこと
2008年9月26日 札幌学院大学3号館2階 会議室にて

人文学部 こども発達学科2年 松井 美織	経済学部 経済学科1年 菊池有紀子	商学部 商学科2年 猪川真希子	人文学部 人間科学科3年 菅野 揚子	人文学部 人間科学科3年 工藤 詩織	人文学部 人間科学科3年 藤山 達史
----------------------------	-------------------------	-----------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------

「先生からいろいろもらったな」
藤山 「すぐやる」「先生の生き方にお手本をみつけた。今自分もやってみよう」と後悔するものがあることに気がついた。猪川 大会ごとに写真やDVDを作ってもらった。十年二十年たつたときに思い出を作ることができる客観的なものを作っていた。こんなすごいことと知りたくない。
菊池 「ここで走らせてくれたこと、走る場所をもらったことに感謝。順位が大切と思いつけてきた私。駅伝では楽しく走れるな。」
松井 うん、ゆきづまっとなきや走りたいなと思ったとき、記録のDVDをみると走りたくなる。去年部活をやめたくなって相談に行ったら、先生の「楽しんで走ればいい」といわれて、楽しんで走ることができた。お父さんみたいな暖かさを信じて走ることができた。最後に先生にひとことずつ言おうよ。
菊池 フルマソン走れるようになってほしい。
猪川 是非大会に出て、先生がゴールをキメてほしい。
菅野 挑戦し続ける元気な先生を見て私もがんばりたい。
松井 いつまでも楽しんで走ってほしい。もう少し人の意見をきくと、いい人になれるんだ。